



ジオパーク通信

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会だより

第41号

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会

(洞爺湖町役場ジオパーク推進課内)

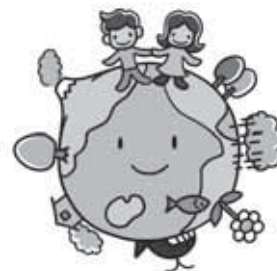
☎ (0142) 74-3015

「世界ジオパーク」がユネスコの正式事業になりました！

平成27年11月17日、洞爺湖有珠山ジオパークが加盟している世界ジオパークは「国際地質科学ジオパーク計画」としてユネスコの正式事業になりました。

1. ユネスコとは？

ユネスコは、世界のいろいろな国が、教育や科学や文化の面でお互いに協力したり交流を深めることで、国際平和と福祉を促進しようとする国際連合の専門機関です。正式名称は「国際連合教育科学文化機関」。日本は昭和26年から加盟し、教育や福祉の向上に協力しています。



2. 正式事業って、今までと何が変わるの？

ユネスコの正式事業になったことで、「ジオパーク」の世界的な認知度がより高まると考えられます。この地域がジオパークであることを理由に、興味を持ってくれる人が増えるかもしれません。

正式事業化は、ジオパークが「地質的な見どころを教育や観光に活用して、住民の生活に役立つ」ということが、世界的に認められた！ということなんですね。

抽選で
当たる！

洞爺湖町 オリジナルエコバックで「大地の物語」をPR！

洞爺湖周辺の実り豊かな大地をもっとPRしたい！という思いから生まれたエコバック「大地のポケット」。洞爺湖町の風景をプリントし、山陰海岸ジオパークである兵庫県豊岡市の鞆職人が仕立てたオリジナルバックです。このバックを、来年2月まで 毎月抽選で5名の方 にプレゼントします。ぜひ、このバックを持ち歩いて「世界ジオパークの町」のPR役になってください！

ご希望の方は、ハガキかファックス、もしくはEメールで、下記内容に回答の上ご応募下さい。12月分の締切は1月5日の消印まで有効です。当選は発送をもってかえさせていただきます。一度当選された方は対象となりませんのでご留意下さい。



図柄は、絵本「11万年のうえの一日」の一場面から、高台のじゃがいも収穫風景。

1. 応募者のお名前
2. 連絡先電話番号
3. お届け先ご住所（洞爺湖町内に限ります）
4. ジオクイズ

「有珠山の噴火活動が休止していた約7,000年前、縄文時代の人々が使っていた道具は何？入江・高砂貝塚や浮見堂周辺でも破片が見つかっています。」

(下記①～②から正解と思う番号を記入してください)

- ① アルミ製のフライパン
- ② 土器（土をこねて形をつくり、焼き固めた器）

11月号のジオクイズ 答え

「道の駅あぶた近くに点在する岩は」？
→ 「約8,000年前、有珠山がくずれて転がってきた岩」でした。

～ 応募先 ～

〒049-5692

洞爺湖町栄町 58 番地 洞爺湖町役場ジオパーク推進課

※ファックスの方は Fax 76-4727 まで

※Eメールの方は info@toya-usu-geopark.org まで